

広島県薬剤師確保対策の取組状況について

1 要旨・目的

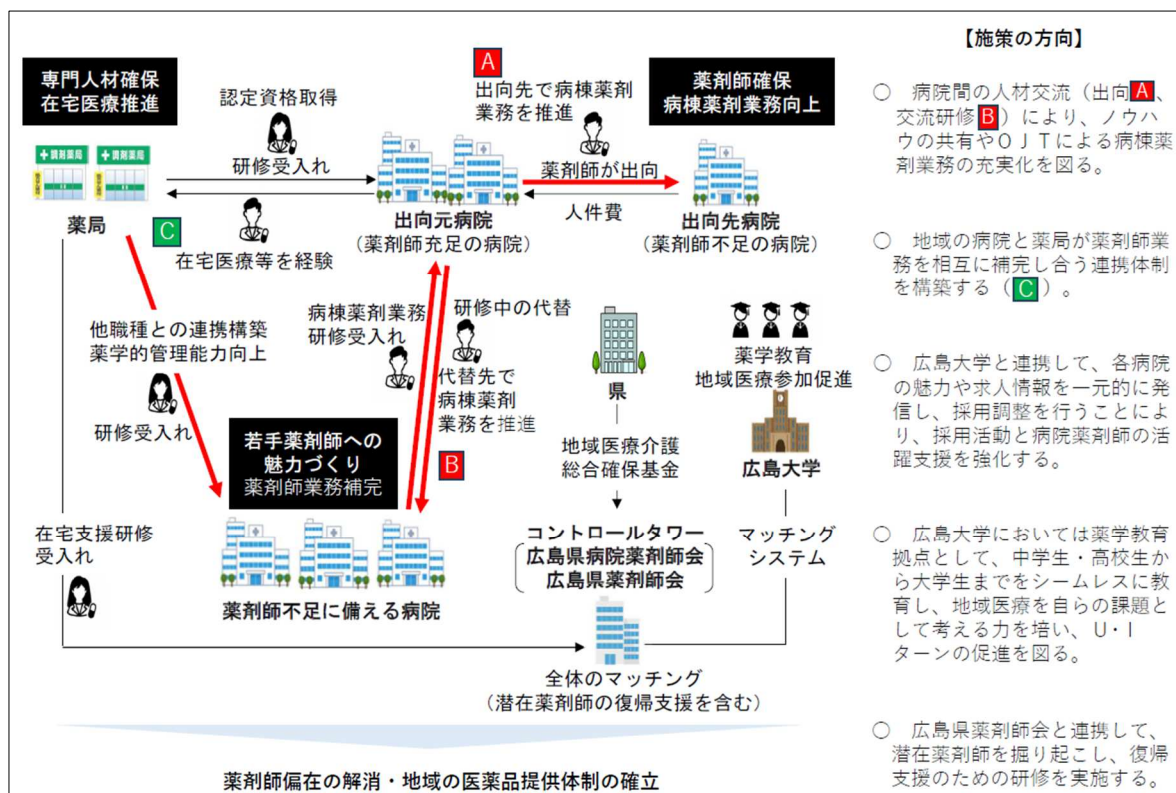
県は、第8次広島県保健医療計画において、薬剤師確保計画を策定し、一般社団法人広島県病院薬剤師会、公益社団法人広島県薬剤師会及び広島大学等と連携し、業態偏在及び地域偏在の解消などの取組を進めており、これまでの取組内容及び今後の方向性について報告する。

2 現状・背景

- 4つの薬剤師養成大学が立地する本県の医療施設・薬局に従事する薬剤師数（人口10万対）は全国4位と高いものの、厚生労働省が、令和4（2022）年の薬剤師に係る医療需要調査等を用いて算定した薬剤師偏在指標（「1.00」が需要と供給のバランスが取れている状態）では、本県の病院薬剤師は0.81（「1.00未満」は需要過多で不足している状態、全国15位）、薬局薬剤師は1.19（「1.00超」は供給過多で充足している状態、全国3位）とされている。
- 特に病院薬剤師の確保が喫緊の課題であるほか、薬局薬剤師も在宅医療に参加する薬剤師の地域偏在に課題がある。病院薬剤師と薬局薬剤師それぞれの地域需要を満たす薬剤師の確保に取り組むことで、薬剤師偏在の解消及び地域の医薬品提供体制の確立を目指している。

3 概要

(1) 全体像



(2) 施策の方向と具体的な取組内容

ア 出向支援事業（(1) 全体像の[A]）

- 地域における病院薬剤師の安定的な確保を目的として、薬剤師が不足している地域の病院（出向先病院）に対して、薬剤師が充足している基幹病院等（出向元病院）から薬剤師が出向し、人員を確保するとともに、病棟薬剤業務の充実化を図ることにより、魅力ある環境づくり及び負の連鎖を断ち切って継続的で安定した雇用につなげる。
- 得られた効果として、事業に参加した出向先病院から、業務や体制の強化・充実、多職種連携の強化、新卒薬剤師の入職等が挙げられた。出向元病院からは、出向経験者のスキルアップ、高度急性期施設では得られない地域医療を俯瞰する視野を持った人材の育成が挙げられた。

年度	参加病院	
	出向元病院	出向先病院
R 5	広島大学病院	公立みつぎ総合病院
R 6	広島大学病院	公立世羅中央病院
R 7	広島大学病院	三次地区医療センター
	県立広島病院	医療法人清幸会 三原城町病院
	広島県厚生農業協同組合連合会広島総合病院	医療法人せのがわ瀬野川病院

イ 交流研修支援事業（(1) 全体像の[B]）

- 将来的に薬剤師不足の懸念のある病院の薬剤師が、薬剤師が充足している基幹病院等において病棟薬剤業務に係る研修を受講するとともに、研修期間中には薬剤師が充足している基幹病院等から病棟薬剤業務を推進する代替要員の派遣を受けることにより、研修中の人員減を相殺しながら魅力ある環境づくりを行う。
- 得られた効果として、事業に参加した病院から、業務改善のアイデアの入手、業務意欲の向上等が挙げられた。

年度	参加病院	
	薬剤師充足の病院	薬剤師不足に備える病院
R 6	県立広島病院	医療法人せのがわ瀬野川病院
R 7	広島県厚生農業協同組合連合会広島総合病院	あかね会 土谷総合病院
	寺岡記念病院	脳神経センター大田記念病院

ウ 在宅医療推進（(1) 全体像の[C]等）

（ア）薬局薬剤師病院臨床薬剤業務研修支援事業（(1) 全体像の[C]）

- 地域の病院と薬局が薬剤師業務を相互に補完し合うことを目的として、病院が薬局薬剤師の研修生を受け入れる取組を進めている。
- 参加薬局からは研修を通して薬局業務に還元できるスキル習得という効果が見られた一方で、参加病院からは研修薬剤師受入れの負担や費用について整理が必要といった課題も明らかになり、事業の方向性を見直しを検討している。

年度	参加施設	
	薬局	病院
R 6	あが中央薬局	医療法人せのがわ瀬野川病院
	オール薬局舟入店	長崎病院
	かなえ薬局	公立みつぎ総合病院
	オール薬局堺町店	吉島病院

(イ) 在宅医療推進のための専門人材の確保

- 薬剤師需要があるにもかかわらず、在宅医療に参加できない薬局が所在する地域の薬局薬剤師に対して、積極的に県及び県薬剤師会が実施する在宅医療に関する専門的知識・技術を習得するための研修を受けるよう働きかけることにより、在宅医療に参加できる薬局薬剤師の育成を促進する。

＜在宅医療の質向上のための知識・技能を習得し、他職種連携研修を修了した薬局薬剤師数＞

【単位：人】

年度	H30～R 3	R 4	R 5	R 6
研修修了薬剤師数（単年度）	—	30	30	89
研修修了薬剤師数（累計）	273	303	333	422

エ 採用活動と病院薬剤師の活躍支援の強化

- 広島大学が開発する病院・学生・薬剤師を結ぶ「ヒロダイマッチングシステム」を活用して、病院・薬局等の魅力を登録し、一元的に発信している。
- 令和7年6月より、広島県で薬剤師として働く魅力を発信する特設サイトを開設しており、病院薬剤師出向支援事業等の取組、薬剤師確保に関する講演会や合同説明会の開催等を発信している。
- 県内初の取組として、県内外の薬学生・薬剤師を対象とした病院合同説明会を開催した。参加した学生・病院にアンケートを実施した結果、学生からは「病院の説明を聞く機会が少なく、薬局側に気持ちが傾いていた。病院薬剤師について考える機会にもなったので、こういう機会を増やして欲しい。」、病院からは「採用活動に対する意識が向上した。」等の意見があった。

【病院合同説明会】

日 時：令和7年7月12日（土）13時～16時40分

方 法：オンライン開催（Zoom ミーティング）

対象者：県内外の薬学生（4、5年生を中心に全学年）、
就職活動を行っている薬剤師等

参加者：県内22病院、薬学生等46名

内 容：病院ごとのブースを設置し、各病院の薬剤師が参加者に病院の特徴等を説明
（30分×5ターム。3タームは参加者希望、2タームは薬務課で振り分け）

4 今後の対応

- 薬剤師の地域偏在・業態偏在の解消につなげられるよう、関係団体等と連携し、病院薬剤師出向支援事業等の取組を継続する。
- 引き続き、合同説明会の主催等による各病院の採用活動の後押しなどの支援も行っていく。